第二級陸上特殊無線技士試験問題

(注)　解答は、答えとして正しいと判断したものを一つだけ選び、答案用紙の答欄に正しく記入（マーク）すること。

法　規　１２問
無線工学　１２問
} ２４問　1時間

法　　規

〔1〕　無線局の免許人は、無線設備の設置場所を変更しようとするときは、どうしなければならないか。次のうちから選べ。

１　あらかじめ総務大臣の指示を受ける。
２　変更の期日を総務大臣に届け出る。
３　あらかじめ総務大臣の許可を受ける。
４　遅滞なく、その旨を総務大臣に届け出る。

〔2〕　固定局（免許の有効期間が１年以内であるものを除く。）の再免許の申請は、どの期間内に行わなければならないか。次のうちから選べ。

１　免許の有効期間満了前３箇月以上６箇月を超えない期間
２　免許の有効期間満了前２箇月以上３箇月を超えない期間
３　免許の有効期間満了前２箇月まで
４　免許の有効期間満了前１箇月まで

〔3〕　電波の主搬送波の変調の型式が角度変調で周波数変調のもの、主搬送波を変調する信号の性質がデジタル信号である２以上のチャネルのものであって、伝送情報の型式がデータ伝送、遠隔測定又は遠隔指令の電波の型式を表示する記号はどれか。次のうちから選べ。

１　Ａ３Ｅ
２　Ｆ３Ｅ
３　Ｆ８Ｅ
４　Ｆ７Ｄ

〔4〕　総務大臣が無線従事者の免許を与えないことができる者はどれか。次のうちから選べ。

１　刑法に規定する罪を犯し罰金以上の刑に処せられ、その執行を終わり、又はその執行を受けることがなくなった日から２年を経過しない者
２　無線従事者の免許を取り消され、取消しの日から５年を経過しない者
３　無線従事者の免許を取り消され、取消しの日から２年を経過しない者
４　日本の国籍を有しない者

〔5〕　無線局（総務省令で定めるものを除く。）の免許人は、主任無線従事者を選任したときは、当該主任無線従事者に選任の日からどれほどの期間内に無線設備の操作の監督に関し総務大臣の行う講習を受けさせなければならないか。次のうちから選べ。

１　５年
２　３箇月
３　１年
４　６箇月

〔6〕　第二級陸上特殊無線技士の資格を有する者が、陸上の無線局の２５，０１０ｋＨｚから９６０ＭＨｚまでの周波数の電波を使用する無線設備（レーダーを除く。）の外部の転換装置で電波の質に影響を及ぼさないものの技術操作を行うことができるのは、空中線電力何ワット以下のものか。次のうちから選べ。

１　３０ワット
２　５０ワット
３　２０ワット
４　１０ワット

第二級陸上特殊無線技士試験問題

法　　規

〔7〕　次の記述は、擬似空中線回路の使用について述べたものである。電波法の規定に照らし、［　　］内に入れるべき字句を下の番号から選べ。

無線局は、無線設備の機器の［　　］又は調整を行うために運用するときには、なるべく擬似空中線回路を使用しなければならない。

1　研究
2　開発
3　試験
4　調査

〔8〕　無線従事者が総務大臣から３箇月以内の期間を定めてその業務に従事することを停止されることがあるのはどの場合か。次のうちから選べ。

1　電波法又は電波法に基づく命令に違反したとき。
2　免許証を失ったとき。
3　その業務に従事する無線局の運用を１年間休止したとき。
4　無線通信の業務に従事することがなくなったとき。

〔9〕　無線局の免許人が電波法又は電波法に基づく命令に違反したときに総務大臣が行うことができる処分はどれか。次のうちから選べ。

1　電波の型式の制限
2　無線局の運用の停止
3　通信の相手方又は通信事項の制限
4　再免許の拒否

〔10〕　無線局の免許人は、非常通信を行ったときは、どうしなければならないか。次のうちから選べ。

1　非常災害対策本部長に届け出る。
2　地方防災会議会長に報告する。
3　その通信の記録を作成し、１年間これを保存する。
4　総務省令で定める手続により、総務大臣に報告する。

〔11〕　無線局の免許人は、無線従事者を選任し、又は解任したときは、どうしなければならないか。次のうちから選べ。

1　遅滞なく、その旨を総務大臣に届け出る。
2　１０日以内にその旨を総務大臣に報告する。
3　速やかに、総務大臣の承認を受ける。
4　１箇月以内にその旨を総務大臣に届け出る。

〔12〕　無線局の免許人が総務大臣に遅滞なく免許状を返さなければならないのはどの場合か。次のうちから選べ。

1　無線局の運用の停止を命じられたとき。
2　電波の発射の停止を命じられたとき。
3　免許人が電波法に違反したとき。
4　免許状を汚したために再交付の申請を行い、新たな免許状の交付を受けたとき。